

 取組概要

- 人権・男女共生課と危機管理課が連携し、地域の女性の防災リーダーを養成するための「女性防災リーダー育成講座」を実施

取組のきっかけ 『地域で活躍する女性の防災リーダーを増やしたい！』

東日本大震災の被災地で、災害時に女性が直面する問題が表面化した。茨木市でも、自治会長などに男性が多い地域では、男女共同参画に関する防災の取組が浸透しにくい状況であることを懸念していた……

防災分野での女性の参画拡大を図るため、自主防災組織への女性の参画率を数値目標として茨木市男女共同参画計画に明記した。



男女共同参画課(現:人権・男女共生課)とその所管施設である男女共生センターローズWAMが、市民を対象とした「女性防災リーダー育成講座」を実施。

人権・男女共生課と危機管理課が連携し、市の会議などに参画する女性の防災リーダーを増やしていくことを目指そう！



1 防災以外の活動をしている女性を巻き込み、地域防災の人材を増やす！

女性防災リーダー育成事業

1. 人権・男女共生課が危機管理課に企画を持ち込み、連携しながら研修を行うこととした

こんな
いいことが
あった！



講座の企画・運営、講師との調整や広報、参加者の受付は男女共生センター、自主防災組織など防災関係者への周知は危機管理課など、役割分担をしながら効率的に研修の準備が進められる！

2. 受講者には、男女共生センターとつながりのあった地域の女性団体に加えて、危機管理課が平常時から関わりのある自主防災組織の女性を対象とし、計4回の連続講座を実施した

こんな
いいことが
あった！



地域で実際に活動している女性に対して、地域の防災活動への女性参画の重要性について理解を促せた！
地域の自主防災組織に地域の女性団体からの受講者を巻き込み、女性の参加者が増えた！

3. 連続講座では、できるだけ同じ方に参加してもらうようお願いした
参加する際には、地域の仲間を連れてきてもらうように声かけをしていた

こんな
いいことが
あった！



同じ地域の女性の受講者が増えたことで、女性同士の連携がしやすくなり、男性のリーダーたちに講座の内容を共有したり、研修会を企画・実施できた！



市内の連携も
促進！

4. これまでは地域住民のみ対象としていたが、福祉部局や子育て部局など、災害時に要配慮者支援として関わる部署も、研修に参加してもらった

こんな
いいことが
あった！



防災を通じた部署の連携や、地域との関わりの場になるなど、多様な人々の連携のきっかけになっている

